

## 香美市の景観(魅力)分析

～日本建築学会四国支部主催「美しくまちをつくる、むらをつくる(写真コンテスト)」から～

高知工科大学 社会システム工学科

1070517 多田香菜子

### 1.はじめに

#### 1.1 研究の背景

研究の背景としては、2003年7月に「美しい国づくり政策大綱」が国土交通省より発表され、時期を同じくして「観光立国行動計画」が決定された。更に、翌年の2004年には景観法が制定・施行された。それにより、人々の景観への関心が高まり、景観を重視した美しい地域づくりが共通認識されるようになった。そういった流れを受け、昨年、2006年度には日本建築学会創立120年記念事業の一環として「美しくまちをつくる、むらをつくる」写真コンテストが全国で開催され、日本建築学会四国支部主催で香美市でもコンテストが開催された。

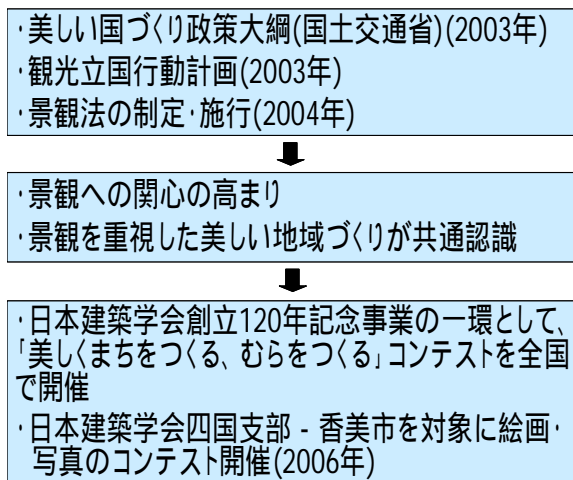


図1 背景

#### 1.2 研究の目的

本研究では、このコンテストに提出された作品を素材に、香美市の魅力ある景観とは、どのようなものなのかを分析することを目的とする。

#### 1.3 研究の方法

研究の方法は、まず、応募作品を景観構成要素表に基づいて景観構成要素分類表を作成する。次に各写真を景観構成要素別に分類し、景観構成要素分析を行う。

また、香美市の地図に各写真の撮影場所を表し、地域別分析をする。この2つの分析を行い、香美市の景観の特徴を把握する。

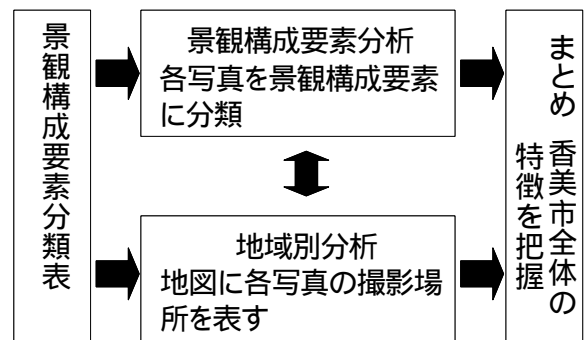


図2 研究の方法

## 2.「美しくまちをつくる、むらをつくる」概要

### 2.1「美しくまちをつくる、むらをつくる」趣旨

このコンテストは、日本建築学会四国支部主催で行われた。日本建築学会創立120年の記念事業の一環として、「社会とともに・建築」をメインテーマとして行われた。課題は「ここにしかない個性豊かな景観とまちづくり・香美市の魅力と美しさ」とし、募集された。

### 2.2 応募及び審査の結果

コンテストの作品応募数は42点、応募者数は21名、応募者の年齢は14～67歳だった。香美市以外に高知市や南国市、いの町、愛媛県からの応募があった。応募者21名のうち、14名は高知工科大学の学生である。

審査の結果、優秀賞1点、市長賞2点、入選3点となった。

優秀賞受賞作品は土佐山田町の泰山公園、市長賞受賞作品2点は「土佐山田のJR土佐山田駅付近」、「物部の奥物部湖水祭り」、入選作品3点は「土佐山田の百石バス停等」、「高知工科大学のキャンパス」、「物部の奥物部湖」となった。

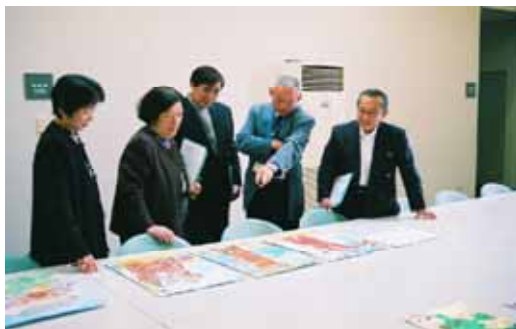


写真1 審査会風景



写真2 優秀賞受賞作品



写真3 市長賞受賞作品



写真4 入選作品



写真5 市長賞受賞作品

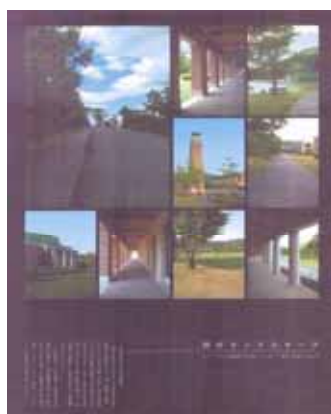


写真6 入選作品



写真7 入選作品

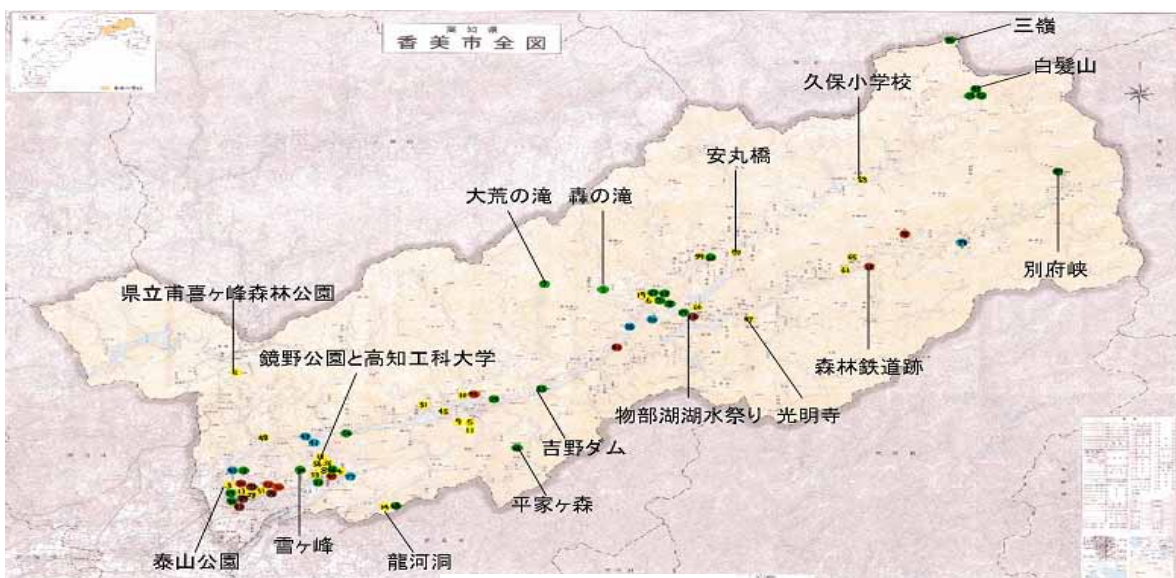


図3 香美市全図

表1 景観構成分類表

		近景	中景	遠景
自然景観系		水、土、風、草木、鳥、獣、魚、昆虫	河川、水辺、岸辺、里山、原野、樹木、丘陵	山林、山脈、稜線、地平線、水平線、河川、湖沼、海
施設景観系	生活施設	住宅、倉庫、蔵、花壇、生垣、庭木、門、塀	集落内水路、集落道路、屋敷林、住宅群、家並み、電柱、ゴミ置き場	道路、集落、住宅団地、屋敷林
	社会施設	集会所、店、学校、役場、農協、センター、その他公共・業務施設、看板、案内板、碑、地蔵	公共・業務施設群、広場、公園、道路、沿道店舗、広告、廃車置場、神社、森、寺、集排施設	建物・施設群、通学道、自転車道、公園の樹木、神社、森、農道、道路、幹線道路
	生産施設	果樹園、菜園、畜舎、サイロ、マルチ、ビニールハウス、苗床、堆肥置場、集落内農地	農地、水路、防風林、農道、ライスセンター、カントリーエレベーター、集落周辺農地、共同生産施設、工場	広がる農地、起伏のある畑地、牧草地、平地林、大地畑、ビニールハウス群、電照菊、工業団地、ライスセンター、カントリーエレベーター
生活や行事等景観系		冠婚葬祭、盆正月の年中行事、家の行事、菜園作業	祭り、神輿や神楽ルート、のぼり、神社の旗、農村舞台、神社・寺の行事、集落運動会、子供の遊び	虫追い、野焼き、田植え、早苗田、秋の田、冬田、刈り取り、おだ掛け、空中散布、煙り

### 3. 香美市の景観(魅力)分析

#### 3.1 景観構成要素

景観構成要素表は大きくは自然景観系、施設景観系、生活や行事等景観系の3つに分類される。更に、施設景観系では生活施設、社会施設、生産施設の3つに分けることができる。この表を基に、応募作品の撮影場所を分類する。この表は更に構成要素別に近景、中景、遠景に分類することができる。

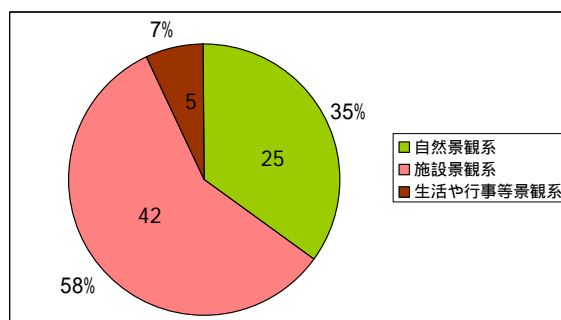


図4 景観構成要素分析

表2 近・中・遠景別分析

		近景	中景	遠景	計
自然景観系		10(40%)	6(24%)	9(36%)	25(100%)
施設景観系	生活施設	3(38%)	2(25%)	3(38%)	8(100%)
	社会施設	17(63%)	9(33%)	1(4%)	27(100%)
	生産施設	0(0%)	3(43%)	4(57%)	7(100%)
生活や行事等景観系		1(20%)	2(40%)	2(40%)	5(100%)
計		31(43%)	22(31%)	19(26%)	72(100%)

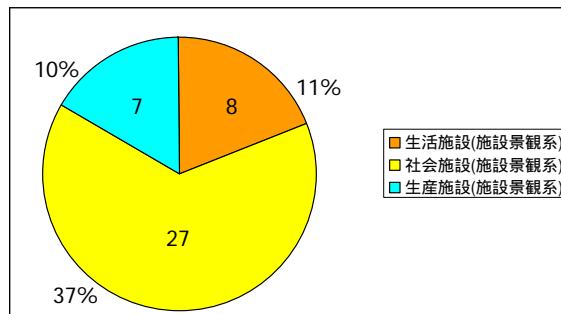


図5 景観構成要素分析 施設景観系

#### 3.2 景観構成要素別分析

分析対象は応募作品42点、作品の撮影場所の72ヶ所である。図3は写真の撮影場所を表したものである。景観構成要素別で見ると、施設景観系は58%、自然景観系は奥物部湖や三嶺等で35%、生活や行事等景観系は奥物部湖水祭りや土佐山田の日曜日等7%となった。施設景観系では、泰山公園や日ノ御子河川児童公園等で社会施設37%、香北の旧三谷家の蔵や、土佐山田片地地区の住宅等の生活施設11%、段々畑やみかん畑等の生産施設10%となった。

#### 3.3 近・中・遠景別分析

近・中・遠景別で見ると、まず近景は43%、中景は31%、遠景は26%であった。近景では、施設景観系の社会施設が63%、中景では施設景観系の生活施設が25%、遠景では、自然景観系が36%、施設景観系の生活施設が38%となった。

#### 3.4 地域別分析

図6で示すように、土佐山田町が46%(33点)、香北町28%(20点)、物部町26%(19点)だった。

表3 地域別近・中・遠景別分析

	土佐山田町				香北町				物部町				
	近景	中景	遠景	計	近景	中景	遠景	計	近景	中景	遠景	計	
自然景観系	5(63%)	1(13%)	2(25%)	8(100%)	3(33%)	5(56%)	1(11%)	9(100%)	2(25%)	0(0%)	6(75%)	8(100%)	
施設景観系	生活施設	1(20%)	2(40%)	2(40%)	5(100%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	1(50%)	0(0%)	1(50%)	2(100%)
	社会施設	7(58%)	5(42%)	0(0%)	12(100%)	6(75%)	1(13%)	1(13%)	8(100%)	4(57%)	3(43%)	0(0%)	7(100%)
	生産施設	0(0%)	3(75%)	1(25%)	4(100%)	0(0%)	0(0%)	2(100%)	2(100%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	1(100%)
生活や行事等景観系	0(0%)	2(50%)	2(50%)	4(100%)	0(0%)	0(0%)	0(0%)	0(100%)	1(100%)	0(0%)	0(0%)	1(100%)	
計	13(39%)	13(39%)	7(21%)	33(100%)	10(50%)	6(30%)	4(20%)	20(100%)	8(42%)	3(16%)	8(42%)	19(100%)	

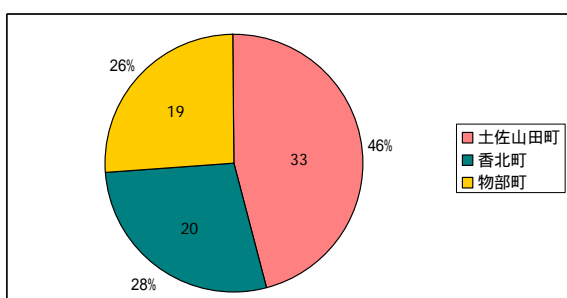


図6 地域別分析

### 3.5 地域別分類別分析

地域別景観構成要素別に見ると、土佐山田町では鏡野公園や JR 土佐山田駅等の施設景観系の社会施設は39%、日曜市やえびす商店街裏の路地等の生活や行事等景観系は12%、轟の滝や大荒の滝等の自然景観系は45%、生活や行事等景観系は0%、別府峡、や三嶺等の自然景観系は42%だった。

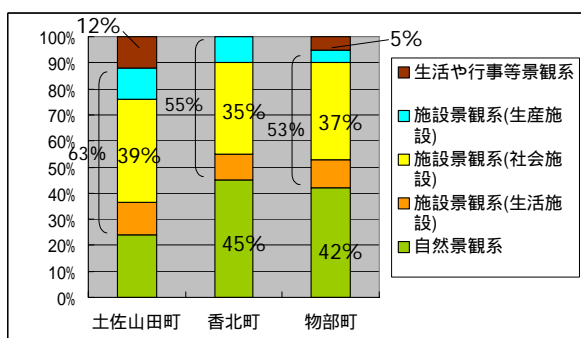


図7 地域別分類別分析

### 3.6 地域別近・中・遠景別分析

地域別に近・中・遠景別に見ると、土佐山田町では近景と中景が39%、香北町では近景が50%、物部町では

近景と中景が42%だが、中景が16%となった。

### 4.まとめ

香美市の景観（魅力）とは、自然景観や観光名所等の空間が多いのではないかと予想していた。確かに、三嶺等の自然景観系や、龍河洞等の観光名所等も提出されていたが、生活・行事等景観系の奥物部湖水祭り等の生活に密着した何気ない空間や懐かしい空間等の生活景観、歴史的景観が多く提示されていることが特徴といえる。

そして、その特徴はこれからの香美市の景観（魅力）を考える上で重要である。

### 参考文献

- ・1994,農村景観計画研究会著：景観づくりむらづくり～農村景観づくりの手引き～,ぎょうせい